

第17回 Re-Seed セミナー

「どうなる！2017年度の日本と不動産市場」

A-1 不動産市場の最新動向と今後の有望分野

～各地の不動産市場の動向を探る～

■開催日時：2017.6.16（金）15：00～17：00

■講師：みずほ証券(株) 市場情報戦略部

上級研究員 石澤 卓志 氏

<略 歴> 昭和56年 慶應義塾大学法学部卒、日本長期信用銀行入行。調査部などを経て長銀総合研究所主任研究員。

平成10年 第一勧銀総合研究所 上席主任研究員。

平成13年 みずほ証券に転じ、金融市場調査部チーフ不動産アナリスト。平成26年7月から上級研究員。

主な著書に「東京圏2000年のオフィスビル 需要・供給・展望」（東洋経済新報社 昭和62年）、「ウォーターフロントの再生

欧州・米国そして日本」（東洋経済新報社 昭和62年）、「東京問題の経済学（共著）」（東京大学出版会 平成7年、

日本不動産学会著作賞受賞）などがある。国土交通省「社会資本整備審議会」委員など省庁、団体などの委員歴多数。

■講座概要：オフィスビル市場では、空室率は低水準で推移しているものの、賃料が伸び悩み、2018年以降はビル供給量の増加が見込まれるなど、不安要因がふえています。分譲マンションは価格の高騰によって販売が低迷し、節税対策で供給が増加した賃貸マンションは空室率が上昇しています。インバウンド需要の伸びが鈍化する中で、ホテルの新・増設計画は過去最大を更新し、さらには民泊など競合施設もふえています。不動産市場が回復するカギは何なのか？ 昨年からの1年間の不動産市場の変遷を踏まえた疑問に答えながら、今後の動向及び有望分野を探っていただきました。

